シャルルヴィル・メジェール市訪問ツアー　表敬訪問報告

１．訪問日　令和元年９月２６日（水）

２．全体スケジュール

時間	行動内容
９：００	○シャルルヴィル・メジェール市（ＣＶＭ）近郊のセダン市ホテル出発
１０：００	○メジェール市庁舎にてボリス・ラヴィニヨン市長を表敬訪問 ※フクー・アルメル副市長が代理で対応
１０：４５	○ノートルダム小学校訪問、児童との交流
１２：３０	○デュカール広場近くのティーサロン「シェ・ビアール」にて昼食
１４：００	○飯田通り訪問とフォンティヌ中学校訪問、生徒との交流
１５：３０	○ＣＶＭ市内観光、紙芝居博覧会、デュカール広場での人形劇等見学
１８：３０	○シャルルヴィル市庁舎の日本の間開所式
１９：３０	○デュカール広場近くのレストラン「ＴＯＳＨＩ」で夕食懇親会
２１：００	○バスにてセダン市ホテルへ

３．表敬訪問等公式行事通訳　ヴァンソン　藤井氏

４．関係者・同行者

（１）グレゴリー氏　ＣＶＭ外交政策担当者・本訪問のＣＶＭと飯田市の調整役

（２）レリトー　和子氏　訪問団の通訳、訪問団パリ市観光案内役
※飯田市下久堅ご出身・２５日夜にセダンで合流、２９日の最終日まで同行

（３）モルマン氏　訪問団の訪問と飯田市ＣＶＭ訪問調整役のグレゴリー氏との調整担当
※日本の間の開所式のみ出席

（４）いいだ人形劇フェスタ実行委員会　原田実行委員長
※訪問団の表敬訪問等公式行事に同行

５．メジェール市庁舎訪問

（１）フクー・アルメル助役からの歓迎のあいさつ要旨

・シャルルヴィル・メジェール市（ＣＶＭ）への訪問に感謝する。

・ラヴィニヨン市長は急用でパリに行ってしまったため、代わりに私があいさつさせていただく。

・現在ＣＶＭ市では、人形劇フェスタの期間中であるため、日本をはじめ数多くの国から、人形劇ファンが訪れて、市内は大変な賑わいとなっている。

・飯田市との盟約書に基づく 1988 年以来の人形劇による友好都市関係が 30 年続いている。飯田市の人形劇フェスタでは 150 あまりの会場で 500 の人形劇が上演されている。おそらく日本で一番の人形劇の祭典だと思う。

・飯田市では戦後大きな大火に見舞われたと聞く。一方ＣＶＭ市では、第二次世界大戦中に大きな爆撃を受けた。街が戦中戦後、大きな被害を受けた点でも歴史的な共通点があると思う。

・1979 年に国連の世界子どもの人権を守る会議にも、飯田から人形劇が参加したと聞く。子どもの人権にも関心の高い地域であることがうかがわれる。

・2011 年に「飯田通り」が命名された。ますます多くの飯田市の関係者がこの命名をきっかけにＣＶＭ市を訪問してくれている。特に、2017 年には飯田市ご出身の方が、ＣＶＭ市でフランス料理のレストランを開店された。日本人がフレンチレストランを開いたということが、ＣＶＭで大変大きな反響を呼んでいる。

・日本で若い女性がＣＶＭのロゴの入ったＴシャツを着て歩いていた、という情報をジャーナリストから聞いた。フランスの小さなあまり有名でない町のＴシャツを着た方が日本にいることを聞いてとてもうれしい。

・<u>昨年、ラヴィニヨン市長が初めて飯田を訪問した。それ以来、ラヴィニヨン市長は飯田市に大変大きな関心を持つようになった。飯田市は、過去の歴史を大切にしながら、新しい文化を創り出していこうという姿勢があり、市長はそこに惹かれている。</u>

・ＣＶＭも過去の歴史や美しい自然環境を大切にしつつ、新しい文化を創造していこうとしている。そういう点でもＣＶＭと飯田市には共通点があるとラヴィニヨン市長は感じている。

・飯田市にはツアーオブジャパンという大きな自転車レースが開催されている。ＣＶＭでも、大きな自転車レースのイベントを開催している。また、ジビエ料理もＣＶＭ市では名物になっている。そういう点でも飯田市とは共通点を見いだせる。

・世界では今、深刻な出来事がいろいろと起こっていて、世界中の人々が不安に感じていると思う。そのような中でＣＶＭや飯田市が取り組んでいる人形劇は、国籍を問わず人々に多くの感動を与える文化である。ＣＶＭではちょうど人形劇フェスタが行われている。そのような時期に、飯田市長や教育長、市民の皆さんがＣＶＭを訪問されたことを改めて歓迎させていただく。

（２）シャルルヴィル・メジェール市訪問ツアー団　一ノ瀬団長のあいさつ

・今回のツアー団の訪問を快くご歓迎いただき感謝申し上げる。９月２４日にパリに入り、昨日近郊のセダン市に宿泊して、本日ご訪問させていただいた。

・昨年のラヴィニヨン市長ご夫妻が飯田にお見えになり、ＣＶＭ通りの命名式や今田人形の館での龍江地区住民との交流において、心に残る交流ができたことを大変うれしく思っている。そ

の御礼と感謝を申し上げるべく、こうして訪問団を結成し、本日の表敬訪問に至った。

- 今日は、多くのＣＶＭの市民の皆さんとの交流をさせていただく。この交流を足掛かりに、両市の交流と絆がさらに深まることを期待したい。
- 本日の交流では何かとお手間をかけるが、よろしくお願いしたい。結びにアルメル助役及びＣＶＭのますますのご発展を祈念して、挨拶とさせていただく。

（３）懇談

- お茶菓子をいただきながら、訪問団メンバーとＣＶＭ関係者が懇談

（４）訪問の様子とメジェール庁舎をバックに記念撮影

6．ノートルダム小学校訪問

（1）概要

・ノートルダム小学校は、メジェール市庁舎から歩いて５分のところにある私立の幼稚園及び保育園である。学校の名称は、目の前にあるＣＶＭのノートルダム寺院に由来するものと思われる。

・フランスは、小学過程は５年、中学過程は４年となっている。ノートルダム小学校では、幼稚園から中学校までの一貫教育を行っている。

・「エコカレッジ」という看板が校庭に掲げられていて、当市の「学校いいむす」に相当する環境に配慮した学校づくりに取り組んでいる。

（2）校長先生による小学校案内

・各学年の授業中や幼稚園の光景を校長先生の案内で巡回し、見学

・学年にもよるが、最後に訪問した学年は 30 名ほどクラスであった。

（3）最後の教室で訪問団と児童（４年生）の交流を行った。

・通訳のレリトー和子氏が、ホワイトボードに飯田の位置を図示。

・一ノ瀬団長より龍江小学校の児童が折った折り紙を児童にプレゼント。折り紙と聞いて、生徒は興味を示す。中には「ありがとう」と流暢にお礼を返す児童もいた。

・龍江小学校１年生児童と校長先生のメッセージ、龍江のＣＶＭ通り命名式、龍江小児童が参加した飯田りんごん（賞を受賞）のＤＶＤ、今田人形の風呂敷も記念のお土産として渡す。

・児童からの質問

ア）日本の小学生は書くときに何を使うか？

⇒鉛筆を使う。ボールペンや万年筆は使わない。

イ）韓国語と日本語は違うのか？（昨今の日韓関係を目にしての質問か？）

⇒全く違う。それぞれの国の言葉である。日本語には平仮名、片仮名がある。

ウ）日本の学校には制服があるのか。

⇒中学生になると制服を着て学校に通う。

・児童が地元出身の詩人・貿易商人アルチュール・ランボーの詩を朗読（ボヘミアン：吟遊詩人）

・児童から手紙、学校の写真、ＣＶＭの町のガイド、が贈られる。

・代田教育長より、書道の色紙が贈られる。

・代田教育長が、一番好きな教科を児童に尋ねる。

⇒多くが、数学や国語だと答える。そのほか、英語、スポーツ、と答える児童もいた。

⇒人形劇の授業はこの小学校では行われていない。

・児童が最後にフランスの童謡を合唱してお別れ。

7．デュカール広場近くのティーサロン「シェ・ビアール」にて昼食

ＣＶＭ招待による軽食による昼食

写真上段左：龍江の法被を贈呈された校長先生
写真上段右：低学年の授業風景
写真中段左：代田教育長の書道のプレゼント
写真中段右：学校の中の様子
写真下段左：児童がフランスの童謡を歌って歓迎
写真下段右：ＣＶＭ招待の昼食

7．飯田通り訪問とフォンティーヌ中学校生徒との交流

（1）飯田通りは、ＣＶＭの西北部にある。2011 年に命名された。閑静な住宅街の中にある。この通りに面して、フォンティーヌ中学校がある。今回は中学校訪問ではなく、中学校の演劇部員が参加して、パフォーマンスを行ってくれた。

（2）牧野市長あいさつ

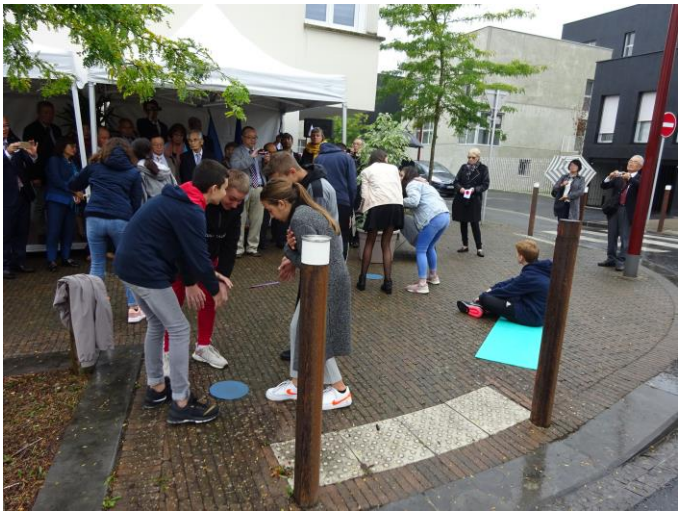
- 龍江地区の皆さんにＣＶＭにお越しいただき、感謝に堪えない。飯田通りで龍江の皆さん、ＣＶＭの皆さんとお行き会いでき、本当にうれしく思う。
- 昨年、ラヴィニヨン市長ご夫妻が、友好都市提携 30 周年で飯田にお見えになった際に、龍江の天竜峡桜街道をＣＶＭ通りと命名させていただいた縁で、今日、こうした出会いができたことに、改めて感謝申し上げる。
- 龍江地区には、伝統的な人形座「今田人形」がある。人形劇の文化を大切にするＣＶＭに敬意を表して、龍江地区に２キロメートルにわたって 200 本もの桜の木が植えられている桜街道を、ぜひ、ＣＶＭ通りと名付けたい、という思いを受けて、昨年、ラヴィニヨン市長ご来訪の際、ＣＶＭ通りと命名させていただいた。その龍江地区の方が、こうしてはるばるＣＶＭの飯田通りの地にお立ちになっていることがとても感慨深い。
- 今日この場にお越しのＣＶＭの皆さんが、日本にいらした際には、ぜひ、龍江のＣＶＭ通りを訪問していただければ幸いである。

（3）マインテ市議（ＣＶＭ）

- 改めて、飯田通りへの訪問に感謝を申し上げる。友好都市どうしが、それぞれの地名を持つ通りを持つようになり、このことが今後の両市の交流をますます深いものにしていくことを期待したい。
- 自身はもともと音楽の指導者である。この飯田通りの出会いをきっかけに、人形劇にとどまらない、音楽をはじめとした様々な文化交流が飯田市と生れれば、と期待したい。ＣＶＭのご滞在を楽しんでいただきたい。

（4）演劇部の皆さんのパフォーマンス

- フランス国内の中学校で、演劇部がある中学校はあまりない。フォンティーヌ中学校の特徴である。演劇鑑賞のほか、１週間に２時間は実際に演技の稽古もしている。
- 今日パフォーマンスを行うのは、演劇部に所属する中学４年生である。今日は稽古でいつも行っている基本的な動作を皆さんに披露したい。
- 最後に皆さんにも参加していただいて、演劇部の稽古を体感してもらいたい。



写真上段左：飯田通りの表示看板　写真上段右：閑静な住宅街の中の飯田通り
写真中段左：牧野市長が合流し挨拶　写真中段右：フォンティーヌ中学校演劇部のパフォーマンス
写真下段左：演劇部の皆さんとともに　写真下段右：飯田通りで記念撮影

8．ＣＶＭ人形劇フェスタご関係者によるＣＶＭ観光＆紙芝居博覧会見学

（１）フェスタ関係者との面会

・飯田ＯＩＤＥ長姫高校の西村教諭が顧問を務める「テックレンジャー」を、再来年のＣＶＭフェスタで披露する構想があることを説明。合わせて、高校生どうしの交流ができたら、と考えている旨を西村教諭が伝える。

・デュカール広場では、プロの人形劇師や大道芸師が演じることになっており、アマチュアがこの広場で上演することは厳しい。

・代わりに披露できる機会について、今後、グレゴリー氏を通じて調整していくことになった。

（２）ＣＶＭの観光、紙芝居博覧会見学

写真上段左：デュカール広場で大道芸師がパフォーマンス。多くの観客が魅了されている。
写真上段右：紙芝居博覧会会場前で、ＣＶＭフェスタ関係者と懇談
写真下段左：市内の通りで様々なパフォーマンスが行われている。
写真下段右：空き店舗のショーウインドウに、人形劇公演のチラシが所狭しと貼られている。

９．日本の間開所式

（１）ラヴィニヨン市長より歓迎のあいさつ

・遠路、飯田から日本の間の開所式にお越しいただき、感謝申し上げる。今日は日本の間を示すプレートの除幕を牧野市長と行わせていただく。

・昨年、飯田を訪れた際は、牧野市長をはじめ、飯田市民の皆さんに手厚くご歓迎いただき、心に残る訪問となった。その素晴らしい思い出が、今再びよみがえってきている。我々と同じ、人形劇に情熱をもってまちづくりに取り組む同市に、再びこの地であえて本当にうれしい。

・飯田市には、人形劇以外にも素晴らしい地域資源がある。そのうちの一つがりんごである。飯田では大変おいしいシードル酒を作っている。ＣＶＭにもおいしいシードル酒があり、今日はその醸造農家も来ていただいているので、あとでその味を堪能していただきたい。

・私が昨年飯田市で感じたことは、市民の皆さん、市の職員の方が、新しいまちをつくっていこう、という情熱を熱く持っていることをひしひしと感じさせていただいた。また、飯田市民の方の心温まる歓待も受けた。飯田市民の皆さんの心の温かさは今でも忘れられない。

・そのお礼として、ささやかではあるが、シャルルヴィル市庁舎の会議室の一角を日本の間とさせていただいた。地元に住むデザイナーがイメージする日本の間を、障子に代表されるように、木を使って表現してくれた。また、飯田市から贈られた水引工芸や写真を展示させていただいた。この日本の間に訪れた方が、水引工芸や写真を見て、いつか飯田に行ってみたい、と思ってくれることを願っている。さらに、日本とフランスはかなり離れているが、私やＣＶＭの職員がこの間で会議をするたびに、飯田の皆さんのことに思いをはせることになるだろう。

・私が飯田のＣＶＭ通りを訪れた際、歓迎してくださった龍江地区の皆さんがこんなにも多くお越しになってくれたことも大変喜ばしい。

（２）牧野市長あいさつ

・およそ１年ぶりに日本の間でラヴィニヨン市長と再会できたことを大変うれしく思う。昨年の８月に、ＣＶＭと飯田市は友好都市提携 30 周年を迎えた。昨年の 30 周年記念事業には、ラヴィニヨンご夫妻とグレゴリー氏が駆けつけてくださった。

・ＣＶＭには飯田通りがあり、その命名のお礼にどうすればいいか、と考えていた際に、龍江地区の皆さんが、美しい桜並木をＣＶＭ通りとして命名しよう、と提案してくれた。龍江地区には 300 年の伝統を誇る「今田人形」がある。伝統的な人形座のある龍江地区からそのような声をいただき、本当にありがたかった。

（３）訪問団一ノ瀬団長より親書の贈呈

・昨年、ラヴィニヨン市長には、遠路はるばるＣＶＭ通り命名式にお越しいただき感謝する。そのお礼に 15 名の訪問団を結成して訪問させていただいた。今回は、龍江地区の地域づくり委員会の木下会長、飯田フランス協会の原会長から親書を預かってきたのでお渡ししたい。また、ノートルダム寺院の火災の見舞金も合わせてお渡しさせていただく。

（４）その他、記念品の贈呈と懇談、レストランＴＯＳＨＩで夕食懇親会

飯田の風景写真

水引工芸の展示

日本の間銘板

両市長

親書贈呈

日本の生花を披露

飯田フランス協会から記念品贈呈